

第1回理事会 ご報告

日 時 令和4年6月18日(土) 9:30~12:00 市庁舎3階第1会議室

1 報告事項

1) 定期総会について

(1) 有効数の訂正

- ・委任状提出数：正 136名、総会資格確認時は、127名と報告。
総会当日、代議員が持参した9名分の委任状を数え漏らした。
- ・有効数：出席者90名と合わせ、226 ※議事録にお詫びと訂正を記載する。
- ・定期総会議事録は、代議員と役員理事に配布する。

(2) 各号議案の内容

→・すべての議案が賛成多数で可決された。

2) 令和4年度の世帯数と補助金の交付について

(1) 令和4年5月1日世帯数：24,857(163自治会) 前年度比811世帯減

※今年度の自治会補助金、地区自連交付金、市レク補助金額等の算出基準世帯数。

・地区自連ごとの減少世帯数

地区自連	減少数	地区自連	減少数
新田宿・四ツ谷	51	相模が丘	226
座間	32	小松原	32
入谷第一	21	ひばりが丘	92
入谷第二	39	東原・さがみ野	25増*
立野台	18	栗原	45
緑ヶ丘	116	南栗原	88
相武台	76		

※令和3年度休会していた「さがみ野第2(110世帯)」が活動再開。

→・相武台緑ヶ丘自治会、六棟会自治会、座間さがみ野団地自治会は、単独自治会になった。

(2) 補助金について

①令和4年度単位自治会補助金交付申請書

- ・申請書提出期日：6月24日(金)
- ・振込予定日：8月5日(金)

②令和4年度地区自連交付金について

- ・金額：34万円を均等割4：世帯割6で交付
- ・申請書提出期日：7月9日(土) 第2回理事会
- ・交付予定日：7月中旬頃

→・本日、代表理事に申請書、専任理事には写しを配布した。

→・振込額：交付金額から振込手数料を差し引いた額。

3) 「自治会長等名簿」の情報開示について

- ・開示不可 : 東原さがみ野地区アトレさがみ野自治会
- ・条件付きで開示する自治会もある。

4) 地区自連での自治会長研修会について

開催日	地区自連	内容・参加人数等
5月 8日 (日)	立野台	22名。
5月14日 (土)	緑ヶ丘	8名。 座間市環境美化等推進団体報奨金制度を知らない人がいた。
5月15日 (日)	南栗原	理事欠席のため、ヒアリングなし。
5月28日 (土)	栗原	12名。自治会役員に外国籍の方がおり、その方々も出席していた。 寄付金(募金)についての質問や意見が出た。
6月11日 (土)	東原・さがみ野	14名。 座間市環境美化等推進団体報奨金制度を知らない人がいた。 ゴミ集積所に関する問題がかなり出た。

5) 部等の活動について

(1) 防災部

①自主防災組織リーダー等研修会

希望日を危機管理課経由で県に提出済み。

第1希望日: 11月22日(火)

第2希望日: 11月18日(金)

参加者数 : 13名(防災部1名含む)

→・第3回理事会(9/3)で地区自連に参加依頼することになる。

②市総合防災訓練担当者全体会議

・会議開催日 : 6月14日(火) 14:00 会場: 市消防本部

→・30団体が参加した。

・防災訓練日時: 9月 3日(土) 9:00~11:00 訓練会場: 座間小学校

→・飲食を伴うため、炊き出し訓練は行なわない。

→・地区自連は初期消火を担当。25名位で行うので、座間地区自連への割り当て人数は、後日、危機管理課から事務局に要請がくる。

(2) 防犯部

①防犯パトロール車実施者証取得講習会

・第3回理事会開催日(9/3)に実施したい。

→・理事会は午後開催、講習会はその前後いずれかで行なう形で、座間警察署生活安全課と調整する。

(3) 広報部

① 「ふれあい」 第76号 (全戸配布)

・発行日：7月1日

→ ・印刷済。

・仕分け作業委託先のアガペセンターで全戸配布のための仕分け作業し、
6/24 午前中に事務局に搬入される。

② 「市自連ニュース」 第29号 (回覧)

・記事①各部のメンバー紹介と令和4年度運営方針

②座間市大風まつり節句凧頒布での市自連の関わり (記事写真 - 吉田理事)

③ひばりが丘「会員親睦会」 (記事写真-田村理事)

④令和4年度「市民レク」実施予定のお知らせ

・発行予定日：8月1日 (月)

→ ・日程調整の結果、市自連ニュース印刷は、次のような予定になった。

日時：7月12日 (火) 9：30～ 於：市役所印刷室

(4) ホームページ運営委員会

・委員会メンバー：湯浅 (委員長)、村井、吉岡、吉田、事務局) 後藤、山口

・第2回：6月16日 (木) 9：30～11：00

→ ・主な議題：掲載記事や掲載予定記事の確認、ホームページが抱える課題など。

→ ・ホームページの認知度やアクセス数を上げたい。

→ ・いろいろな媒体を使った、自治会員への情報提供や会員同士の意見交換などが
可能かも検討したい。

6) 市との意見交換会について

・日 時：7月1日 (金) 13：30～15：30

・場 所：市庁舎5-2会議室

・協議事項：自治会館 (集会所) の耐震診断や耐震改修工事への助成について

要旨・一般木造家屋と同様に、自治会館 (集会所) の耐震診断や耐震改修
工事にも助成金を出してほしい。

・座間市地域防災計画において、自治会館 (集会所) は、災害時、地域
避難所として利用することが想定されている。安全性を保つために
も耐震改修工事は必要であるが、自治会だけで費用を賄うのは困難。

→その他意見・市長が市内の掲示板を改修したい旨を発言したと聞いた。

可能性はあるのか確認してほしい。自治会のお金だけでは大変。

・令和3年4月1日から掲示板の改修費用の補助金額は、5万円を限度額
(事業費の2分の1以内) にすると改定された。

市長の発言と補助金要綱の改定との関係は、市自連は把握していない。

※市との意見交換会で取り上げてほしい事項は、随時、事務局に連絡する。

2 協議事項

1) 地区自連のあり方について

- ・地区自連での役職や行事の手伝いが大変で、単独自治会へ移行する動きが増えている。地区自連ごとに事情が異なり、難しいことであるのは事実だが、看過はできない。地区自連の運営方法のほか、現行の区割りにも踏み込むのか、様々に検討することを提起したい。

- 意見 1. 地区に連合組織があるところは、連合単位で1つの地区にするのはどうか。地区が増えるので、市自連に出るのは理事1名でいいのではないか。
2. 市自連理事は各地区2名ずつが望ましい。1人で会議に出て、意見を言ったり聞いたりしながら記録を取り、地区に戻って報告するのは難しい。聞き逃しや取りこぼしが出る。
 3. 今の地区自連の規模で1つの単位自治会にするのはどうか。世帯数が多くなれば、役員や班長等が回ってくる回数が減る。但し、小さな連合が出来やすくなり、情報の流れが滞るかもしれないという不安もある。
 4. 今の単位自治会世帯数に幅があり過ぎる。規模が小さいと行事もままならず、役職がすぐ回ってくるので負担になり、活動しにくい。世帯規模に上限、下限を設け、会員数の少ない自治会は合併するなどして、ある程度の会員数を確保した方がいい。
 5. 役員任期の違い（規約の違い）、会費額の違い、繰越金の扱い、昔からのわだかまり等、課題も多くあり、合併が進みにくい現実がある。
 6. 単位自治会も地区自連も会長決めはもめる。1人に仕事が集中するのではなく、複数人で分担して作業量を分散することで、会長職の負担軽減を図ったほうが役員になり易くなるのではないか。
 7. 個人のスキルや得意分野を生かすことで、よりよい運営が出来るのではないか。
 8. 地区自連としてまとまって動いているのは、まつりと市民レクくらい。
 9. 地区自連を分割すると現行の理事の出し方では理事が増える。
10. 所属する地区自連構成は、大規模マンション自治会が地区自連世帯数の5割程を占めている。戸建てと集合住宅では、抱えている課題が違うので折り合いが難しい。地区自連役員は、自治会輪番制で出すことになっているが、十数世帯の単位自治会には厳しい。やり方に無理が出ている。
11. 世帯数減少が問題の大きな要因の一つである。行政を巻き込み、一緒に考えていくことも大切だと思う。

→・意見をもとに役員会で協議し、その内容は理事会にフィードバックする。

2) 単独自治会の扱いの明確化について

- ・現在17自治会（約700世帯）が、市自連未加入である。市自連の規約上、「地区自連退会」と「市自連退会」は、同義となる。単独自治会を再度、市自連に組み入れることを検討したい。

- 意見 1. 表向きは地区自連との関わりなどを退会理由にしているが、本音が知りたい。
2. 市自連加入と未加入とでは自治会への補助金額が違うが、事務局が当事者である地区自連退会希望自治会にヒアリングした限りでは、それが地区自連にとどまる

理由にはなっていない。

3. 市自連直下に、地区自連に加入しない単独自治会を設けることも検討したいが、そういった自治会が増え、地区自連に留まる自治会が減る可能性も低くはない。また、地域の中で、退会自治会と地区自連との関係は、中々元には戻らない。

→・補助金のこと、地区自連との関係など課題は多い。多角的に検討し、可能性を探りたい。

3) 市民レクリエーション大会の補助金について

- ・現行：地区自連が市自連から割り振られた補助金額を組み入れて予算を作成。
- ・今後：地区自連が計画案と必要経費を出し、それを元に市自連が経費の2分の1について、行政に補助金を申請したい。

市の補助金は、上限つきで予算総額の2分の1を助成するものであるが、これまでは、事務局が補助金額を予め示した上で地区自連は予算を組んでいた。

→意見1. 補助金額に合わせて市レクの内容を計画してきたので、提示金額がないと計画を立てにくい。

2. 急にこれまでのやり方を変えるのは難しい部分もあるので、期間を設けて是正してほしい。ガイドラインのようなものが必要である。
3. 単位自治会や地区自連が自主財源として2分の1負担するのは当然。補助金は自治会員に平等に配分してほしいし、身銭を切るのも大切。
4. 全て世帯数割にした方が分かりやすく、予算も立てやすいのではないか。
5. 世帯が少ない地区自連は変動幅が大きく、対応できなくなるのではないか。地区自連会員数に対しての市民レク参加率も考慮してほしい。
6. お金をかけない市民レクのやり方を模索することも大切だと思う。

→・ソフトランディングできるように、3年かけて自主財源負担割合を2分の1にする案を役員会で協議し、理事会に提案したい。

→市レク実施計画について

日程確定：10/2 栗原、10/9 入谷第1・第2、10/10 立野台、10/23 緑ヶ丘、10/30 相武台

日程調整中：10月実施 相模が丘、9月下旬 or 10月上旬 小松原、10月中旬 東原・さがみ野

実施するが日程未定) 座間中宿

実施の有無を検討中) 新田宿・四ツ谷、座間地区上宿と中宿以外の自治会、南栗原
今年度中止) 座間地区上宿自治会、ひばりが丘

3 その他

1) 第17回健康サマーフェスティンざまについて

- ・開催日時：7月2日(土) 13:30~15:30・会場：ハーモニーホール座間小ホール
- ・今年度は講演会形式。第1部は落語、第2部は座ってできる健康体操。
- ・希望者は、座間市健康づくり課へ直接申込む(6/24まで)。定員150人で先着順。
- ・サマーフェスタ当日の応援は、大矢役員が対応する。

以上